

## 小菊で新ブランドの育成を！

### 湖北農業農村振興事務所農産普及課

#### 【普及活動のねらい・対象】

湖北地域の小菊栽培は30年以上前から始まり、現在、J A北びわこ<sup>かき</sup>花卉部会とJ Aレーク伊吹花卉部会の会員50名が湖北花き推進協議会（以下、協議会）を組織化して知識や技術の研鑽をしています。

平成19年度から省力化技術として取り組まれた露地栽培での<sup>たんけい</sup>短茎小菊の生産拡大とブランド育成の推進を協議会に対して行いました。

#### 【普及活動の成果】

8月のお盆から9月のお彼岸を中心に出荷できるように生産計画を誘導し、今年度は約13万本の短茎小菊が出荷されました。新規栽培者はここ3年で10数名増加し、慣行栽培から短茎小菊栽培へ切り替える人も出てくるなど協議会全体が活気づいています。

また、短茎小菊を有利販売するため、愛称を名付けることとし、協議の結果「プチマム」とネーミングし、平成21年7月、両J Aの連名での商標登録（第5252153号）が取得でき、滋賀県発の小菊ブランドを生み出しました。



慣行規格（75cm、左）とプチマム



出荷箱に貼付するプチマムシール

プチマムの栽培方法は、実需者の要望に応えるため日進月歩しています。関係機関と連携を図りながら、全国初のプチマム産地が築けるように支援活動をおこなっていきます。